



2020年3月期第1四半期

決算説明補足資料

2019年8月9日

株式会社アイ・ピー・エス

証券コード 4390

決算概要

売上高：1,577百万円 営業利益：308百万円

事業概要

海外通信事業の売上が底打ち。

フィリピン国内通信事業の大型案件による大幅増収。

国内通信事業における秒課金サービス等が好調に推移し、増収。

1 | 2020年3月期第1四半期 決算概要

2 | 2020年3月期第1四半期 Topics

1 | 2020年3月期第1四半期 決算概要

【2020年3月期第1四半期 連結実績】

(単位：百万円)

	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期			
		1Q実績	前年同期比	通期予想	達成率
売上高	1,387	1,577	189 (+13.7%)	7,000	22.5%
営業利益	259	308	49 (+19.2%)	1,200	25.7%
経常利益	335	231	▲103 (▲30.8%)	1,190	19.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	196	139	▲56 (▲28.8%)	640	21.8%

2020年3月期第1四半期 通期実績分析

- 売上高：フィリピン国内通信事業における大型案件（LRT2号線）の提供と、国内通信事業の秒課金サービスが好調に推移したことにより、大幅増収。
- 営業利益：海外通信事業の採算改善による売上増加により増益。
- 経常利益：リース資産および外貨建て資産の評価替えにより為替差損80百万円を計上し、減益。
(前年同期には為替差益85百万円を計上。)
- 親会社株主に帰属する当期純利益：経常利益の減少に伴い、減益。

【2020年3月期第1四半期 連結実績推移】

(単位：百万円)

	2019年3月期				2020年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	1,387	1,354	1,444	1,593	1,577	189 (+13.7%)	▲16 (▲1.0%)
営業利益	259	213	221	251	308	49 (+19.2%)	57 (+22.9%)
経常利益	335	282	117	266	231	▲103 (▲30.8%)	▲35 (▲13.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	196	194	55	141	139	▲56 (▲28.8%)	▲2 (▲1.6%)

■ 海外通信事業

	2019/3 1 Q	2020/3 1 Q	前年比	(単位：百万円)
売上高	414	340	▲73 (▲17.7%)	
営業利益	127	150	23 (+18.0%)	
利益率	30.8%	44.2%	—	

マニラ地域で過去に提供した一部のIRUに関し、売上計上が終了したことにより減収。ただ収益性の高い案件サービスの開始等が寄与し、増益。

■ フィリピン国内通信事業

	2019/3 1 Q	2020/3 1 Q	前年比	(単位：百万円)
売上高	38	188	150 (+394.5%)	
営業利益	▲3	6	10 (—)	
利益率	—	3.6%	—	

マカティ市での法人向けインターネット接続サービスが順調に拡大するとともに、LRT2号線敷設の光ファイバー回線の提供により、大幅増収。

■ 国内通信事業

	2019/3 1 Q	2020/3 1 Q	前年比	(単位：百万円)
売上高	683	786	102 (+15.0%)	
営業利益	74	99	25 (+34.3%)	
利益率	10.9%	12.7%	-	

秒課金サービスやコールセンタシステムAmeyoJなどのコールセンター向け事業者向けサービスが好調。売上・利益ともに増加。

■ 在留フィリピン人関連事業

	2019/3 1 Q	2020/3 1 Q	前年比	(単位：百万円)
売上高	74	56	▲17 (▲23.3%)	
営業利益	▲6	▲16	▲10 (-)	
利益率	-	-	-	

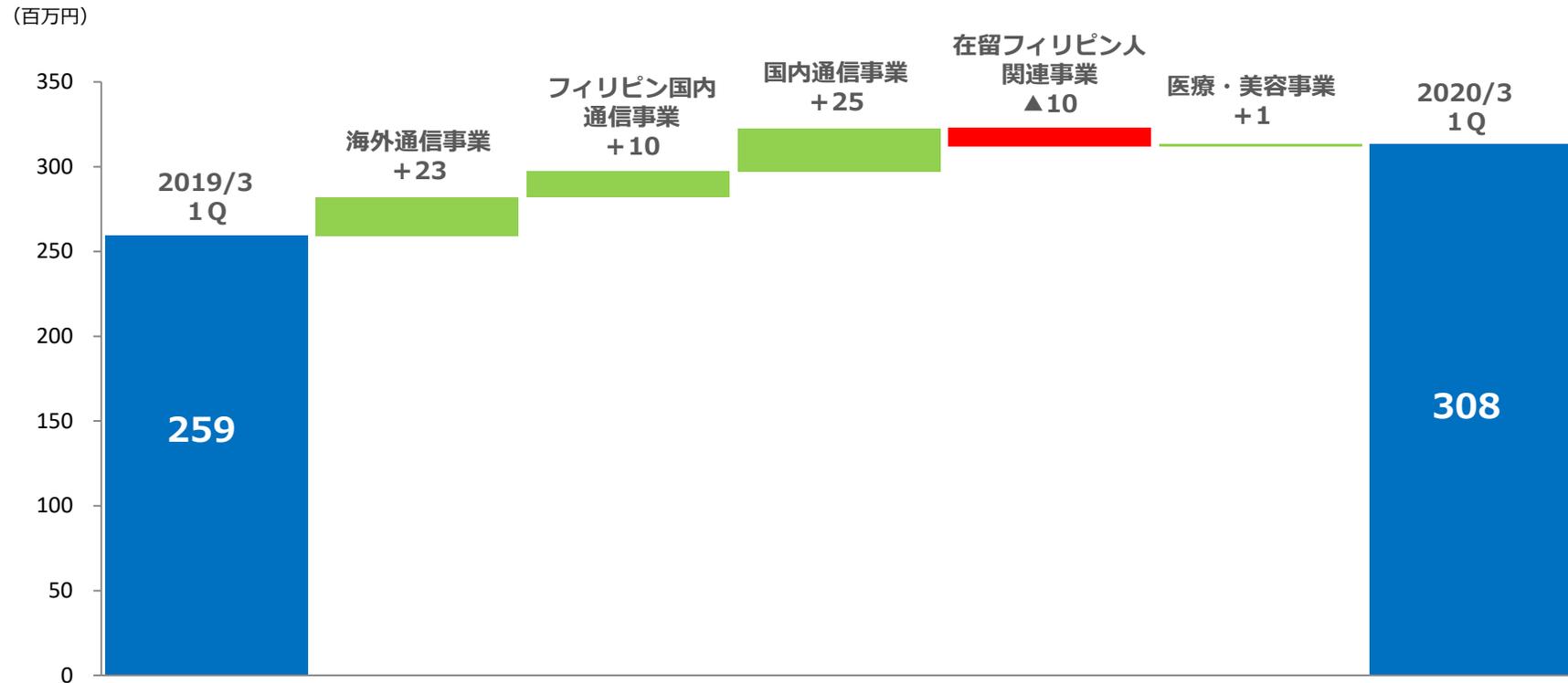
厳しい採用環境の影響で人材の確保が難しく、人材派遣・職業紹介が減収・減益。ジョブフェア（集団就職面接会）等新事業の拡大や、通販事業での新たな商材の販売により収益の改善を図っている途上。

■医療・美容事業

	2019/3 1Q	2020/3 1Q	前年比 (単位:百万円)
売上高	177	204	27 (+15.4%)
営業利益	66	68	1 (+2.5%)
利益率	37.7%	33.5%	-

レーシック施術が順調に拡大するとともに、白内障治療の売上も増加。今年度中にはBonifacio Global Cityに、新たに第3院を開設予定。

海外通信事業と国内通信事業が利益拡大を牽引。



連結貸借対照表（サマリー）

（単位：百万円）

資産の部				負債・純資産の部			
	2019年3月期末	2020年3月期1Q	増減		2019年3月期末	2020年3月期1Q	増減
流動資産	5,142	5,088	▲ 53	流動負債	2,306	2,146	▲ 160
現金及び預金	2,512	2,570	58	買掛金	406	401	▲ 4
売掛金	1,011	992	▲ 18	借入金・社債	300	290	▲ 9
リース投資資産	1,247	1,118	▲ 128	その他	1,600	1,453	▲ 146
その他	371	406	34	固定負債	711	630	▲ 80
				負債合計	3,018	2,776	▲ 241
固定資産	1,603	1,696	92				
有形固定資産	868	964	95	純資産	3,728	4,007	279
無形固定資産	198	188	▲ 9	株主資本	3,170	3,320	149
投資その他資産	536	542	6	累積包括利益	▲ 45	▲ 25	20
				非支配株主持分	603	713	110
資産合計	6,746	6,784	38	負債・純資産合計	6,746	6,784	38

2 | 2020年3月期第1四半期 Topics

Topics 1 ミンダナオ島開拓



当社及びInfiniVAN,Inc.は、2019年7月23日にカガヤンデオーロ市内、同24日にダバオ市内で、CATV事業者向けに、ミンダナオ島内回線敷設の説明会及びダバオグアム回線提供に関する説明会を実施いたしました。

各社との協議の結果、左の地図の赤色の部分を本年中に敷設し、開通した部分から随時使用を開始することで合意いたしました。

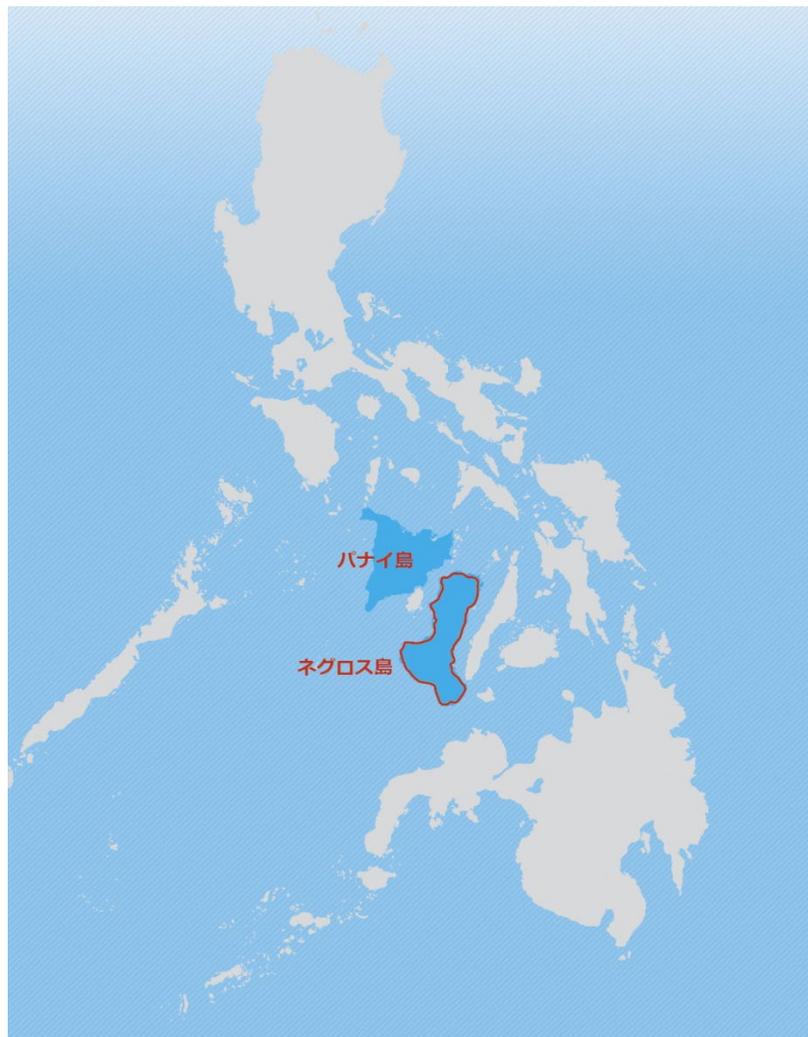
敷設工事に参加する事業者は12社、今回の説明会を通じて、ダバオグアム間の国際回線を、新規で注文いただいた事業者は、15社となりました。



上 赤色の部分が新設部分

左7月23日にカガヤンデオーロ市内で開催した説明会の様子

右7月24日にダバオ市で開催した説明会の様子



当社及びInfiniVAN,Inc.は、2019年8月8日にビサヤ地域のパナイ島イロイロ市・ネグロス島バコロド市で、CATV事業者向けに国際通信回線の提供について、説明会を実施いたしました。

今回ネグロス島で2社、大手通信事業者の既存設備を利用した国際通信回線の提供で合意いたしました。

他事業者の設備がない部分については、InfiniVAN,Inc.が敷設してサービス提供するものとし、2つの島を合わせて約1,200kmの回線を敷設することが必要と見積もっております。

そのうちネグロス島につきましては、需要が大きいため、海岸にそって、早急に500kmの回線を敷設することを計画しております。



2019年6月

InfiniVAN,Inc.は、国家通信委員会より、24GHz帯の周波数の割当を受けております。

2019年7月

InfiniVAN,Inc.は、マニラ首都圏地域ケソン市にあるアラネタコロシウムで、5Gの実証実験を行うことにつき、アラネタコーポレーションと合意しております。

現在実証実験の内容などを検討しております。



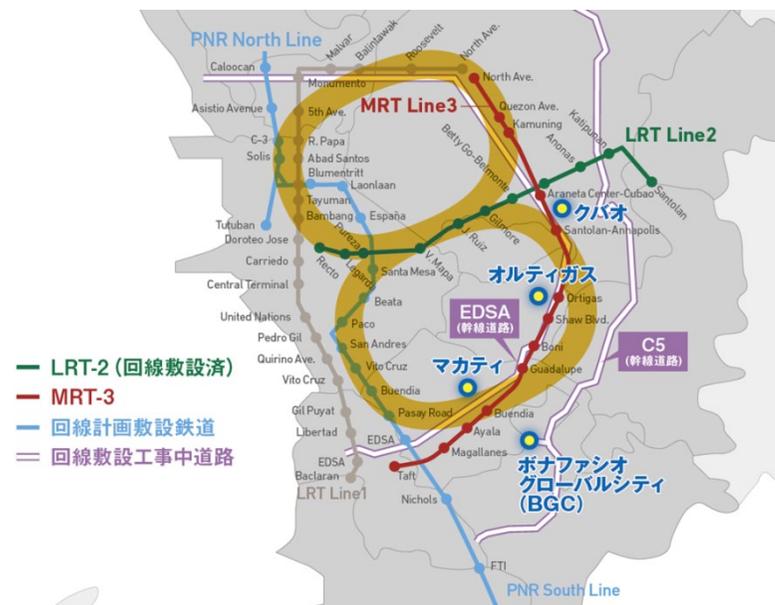
2019年6月

InfiniVAN, Inc.は、MRT DEVELOPMENT CORPORATION との間で、マニラ首都圏地域の主要都市を結ぶMRT 3号線の設備上に、以下の設備を設置することを内容とする賃貸借契約を締結いたしました。

- 1) 光ファイバーを最大8通信事業者分収容できるマイクロダクトを、鉄道設備内に設置
- 2) 各駅・駅間に5Gを含めたマイクロセル（省力型携帯電話基地局）を設置

MRT3号線・LRT2号線に加えて、敷設中の幹線道路・PNRを加えると、マニラ首都圏地域にある商業地域を8の字で結ぶことが可能になります。

回線の物理的な断線が生じて、少なくとも2経路をバックアップルートで取ることができ、マカティ以外の地域でも安定したサービス提供が可能となります。



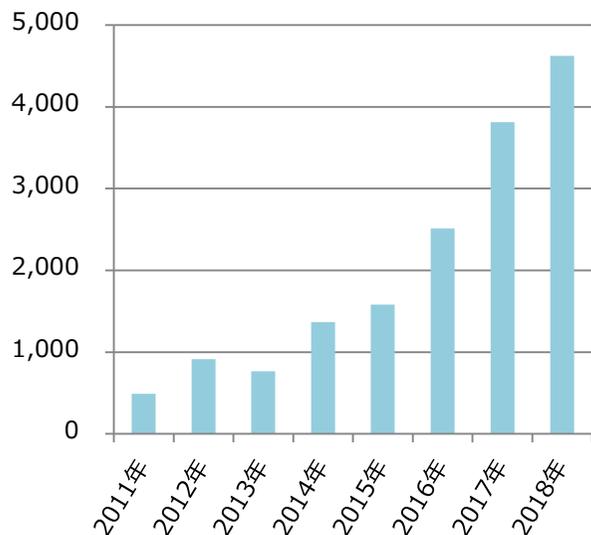
Topics 5 SLAC第3院の開設について



2019年7月

Shinagawa Lasik & Aesthetics Corporationは、マニラ首都圏地域のTaguig市にある商業地域Bonifacio Global Cityに、プレミアムな医療サービスを求めるお客様に特化した、近視矯正クリニックを提供する新たなクリニックを開設いたします。

こちらは、2019年10月ソフトオープン、2020年1月に本格営業を行う計画でございます。



上) Makatiにある第1院
左) 近視矯正手術 (Lasik) の年間施術件数
右) 第3院を開設する予定の、Bonifacio Global Cityにあるビル



Topics 6 フィリピン事業所視察

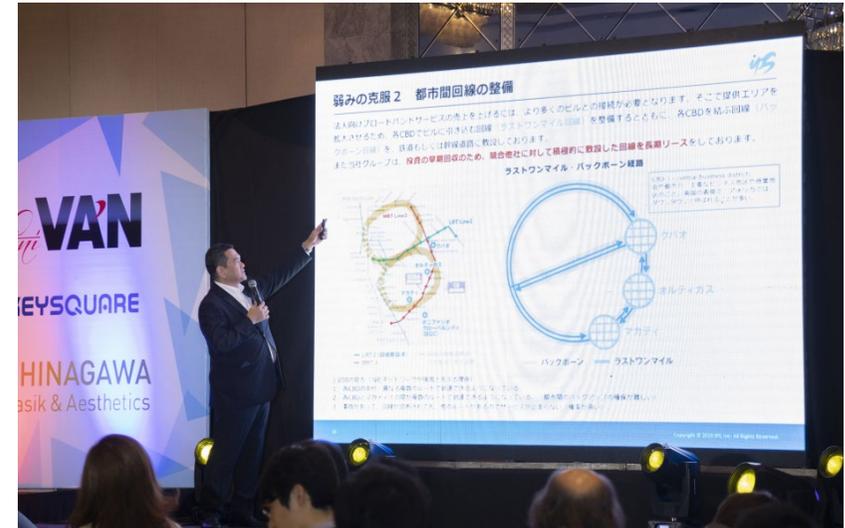


2019年7月

株主及び機関投資家等約200名の方が、当社のフィリピン事業の視察をされました。

当社事業所及び回線敷設工事の現場を視察いただき、事業戦略説明会と外部スピーカーによる講演に参加いただきました。

フィリピンの市場環境と当社事業を理解いただくため、今後も定期的の実施することを計画しております。



事業戦略説明会



Makati市内の回線敷設工事現場



会場となったペニンシュラ・マニラ

会社名
(英文社名)

株式会社アイ・ピー・エス
IPS, Inc.

設 立

1991年10月

本社所在地

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8階

事業内容

海外通信事業：フィリピンのCATV事業者等に国際通信回線を提供

フィリピン国内通信事業：フィリピン国内での法人向けISPの提供

国内通信事業：日本国内での通信サービスの提供

在留フィリピン人関連事業：日本国内での在留外国人向け求人サービスの提供など

医療・美容事業：フィリピンでの医療・美容サービスの提供

グループ企業

連結子会社

KEYSQUARE INC.

Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation

InfiniVAN, Inc.

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

《IRに関するお問い合わせ先》

株式会社 アイ・ピー・エス
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1
東劇ビル8階

TEL: 03-3549-7719 FAX: 03-3545-7331